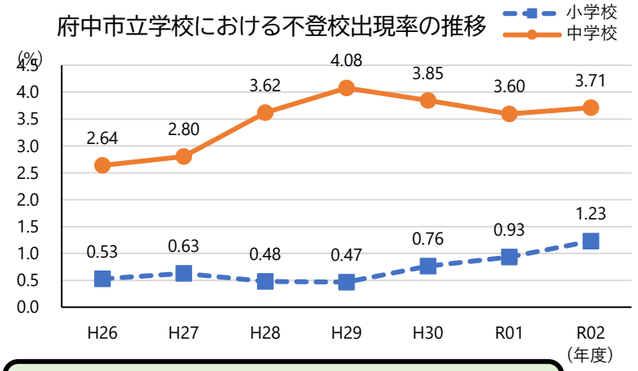
総合教育会議資料 1

府中市における不登校の現状と対応について

1 府中市の不登校の現状

【小学校】直近３年間連続で不登校出現率が増加傾向で令和２年度に初めて１%を超える状況となっている。都の出現率をやや上回るペースで上昇しており、**将来の中学校の不登校者数の増**につながる要素となっている。
【中学校】出現率は平成 29 年度の 4.08%がピークにおおむね横ばいで推移している。小学校との傾向の違いとして、学業の不振が不登校の要因に挙がることと**不登校の長期化傾向、復帰率の低下**がある。

府中市立学校における不登校出現率の推移



長期欠席者数及び不登校児童・生徒数(令和2年度)

R2年度	長期欠席	不登校	昨年度も不登校	90 日以上欠席	不登校から登校復帰
小学校	242	166	56	71	57
中学校	262	214	109	144	43

学年ごとの不登校児童・生徒数(令和2年度)

R2年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
小学校	7	18	22	21	48	50	166
中学校	58	85	71				214

不登校の要因[主たる要因と主たるもの以外に当てはまるものの合計](令和2年度)

	小学校		中学校	
第１位	無気力、不安	117	無気力、不安	158
第２位	親子の関わり方	42	学業の不振	63
第３位	生活リズムの乱れ、あそび、非行	23	いじめを除く友人関係をめぐる問題	24

不登校児童・生徒への支援の状況(令和2年度)

主な相談先		小学校	中学校
校外の機関	病院、診療所	35	15
	教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関	29	18
	適応指導教室(けやき教室)	28	26
校内	スクールカウンセラー、相談員等	85	81
	養護教諭	38	15
全く相談していない		27	86

(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査による)

2 フェーズに応じた不登校対応

フェーズ0 不登校の未然防止

安全で魅力ある学校づくり

- □ 「分かる・できる」授業の実現
- □ ICT を活用した学習環境の充実
- □ 人権が尊重される授業づくり
- □ 前年度からの情報の引継ぎ
- □ 児童・生徒の観察
- □ 学校生活アンケートを活用した課題の把握
- □ 相談しやすい環境づくり
- □ 教員と児童・生徒との信頼関係づくり
- □ 教員と保護者との信頼関係づくり
- □ 児童・生徒にとって居心地の良い学級
- □ いじめを生まない・許さない学校づくり
- □ 互いの人格を尊重しあう学校

フェーズ１ 休みが目立つ段階 連続して３日欠席

学校による迅速な初期対応

- □ 管理職(校長・副校長)への報告
- □ 校内組織(学年・分掌)における連携、情報共有
- □ 欠席の理由や背景の組織的な把握・分析
- □ 教員と保護者との連絡や家庭訪問
- □ 養護教諭による専門的な指導
- □ SCや家庭と子供の支援員による授業観察(学校生活での様子を把握し、教員と情報共有)
- □ SC・SSW等との関係づくり
- □ 関係機関との情報共有
- □ 病気やけがなどの正当な事由なく7日以上連続して欠席し、児童・生徒本人の状況の確認ができていない場合は、指導室に報告(平成27年3月31日付 26文科初第1479号に基づく)

フェーズ２ 不登校段階 30日以上欠席

的確なアセスメントによる支援

- □ 校内組織(学年・分掌)の連携・情報共有、組織的な対応策の検討
- □ 学校による児童・生徒や保護者との面談、学習支援
- □ 保護者の不安や焦りに対する支援
- □ 養護教諭による専門的な指導
- □ 家庭と子供の支援員を活用した家庭との連携強化
- □ SC・SSW等による教育相談体制の充実
- □ 登校しやすい環境整備(別室登校、放課後登校等)
- □ 関係機関との連携、情報共有、接続

フェーズ３ 不登校長期化段階 90 日以上欠席

多様な教育環境の保障

- □ 学校による継続的な児童・生徒や保護者との面談、学習支援
- □ 「けやき教室」での適応指導、学習支援(補充学習や体験学習等)
- □ 小・中・高校等との連携(学校間の引き継ぎ)
- □ 大学等との連携(学生ボランティアの活用)
- □ フリースクール等民間施設等との連携(学習評価や進路指導等)

不登校特例校の設置【新規】

ICT による学習機会の創出と学習内容の充実【新規】

ICT による学習機会やコミュニケーションの充実【新規】

全てのフェーズにおける教育委員会の学校支援の取組

定期的な実態把握と校長会等における情報共有	SSWによる家庭訪問等
学校経営支援員の配置による対応時間の創出	教育相談(心理士)によるカウンセリング
指導主事による指導助言・有効な実践事例紹介	教育相談員(教育職、心理士)の学校へのアウトリーチ
子ども家庭支援センターとの連携による家庭支援	児相・警察等関係機関との連携・連絡調整